

7月18日に新潟地方気象台から発表された1か月予報(7月20日～8月19日)では、向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間は平年並みの見込みです。

## 稲作技術情報

### ～高温に備えた穂肥検討と水管理による稲体の健全化～

#### 1. 出穂期の葉色を見越した3回目時期の穂肥について

令和5年産米の異常高温による品質低下を受け、後期栄養の確保のために3回目時期の穂肥を検討しましょう！

今年は、梅雨の影響により草丈が長め、葉色が濃いめで推移し、穂肥を減肥する圃場が多かったと思われます。8月の気温は高くなる見込みであり、出穂期に葉色の確保が求められます。

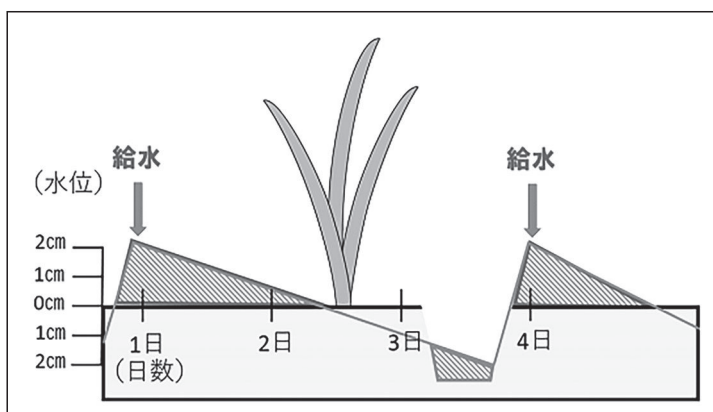
表1：高温が予想される場合の3回目時期穂肥めやす

3回目時期の使用肥料		判断時期と葉色の目安	施肥時期と施肥量
化学肥料を施用		出穂期3日前の葉色(SPAD値)が31以下のとき	出穂期3日前に窒素成分で1kg/10aを上限に施用
有機50%肥料を施用		出穂期6日前の葉色(SPAD値)が33以下のとき	出穂期3日前に窒素成分で1kg/10aを目安に施用
有機100%肥料を施用	標準的な圃場	出穂期6日前の葉色(SPAD値)が33以下のとき	出穂期6～3日前に窒素成分で1kg/10aを目安に施用
	低地力の圃場	幼穂形成期の葉色(SPAD値)が31未満のとき	出穂期6～3日前に窒素成分で2kg/10aを目安に施用

※出穂期を把握し、葉色が淡い場合は表をもとに3回目時期の穂肥を検討しましょう！

#### 2. 出穂期後の水管理について

図1：出穂期後の水管理イメージ



出穂後25日までの水管理は、根の機能を維持するとともに、下位葉の枯れ上がりを軽減することで倒伏防止や登熟向上に繋がります。

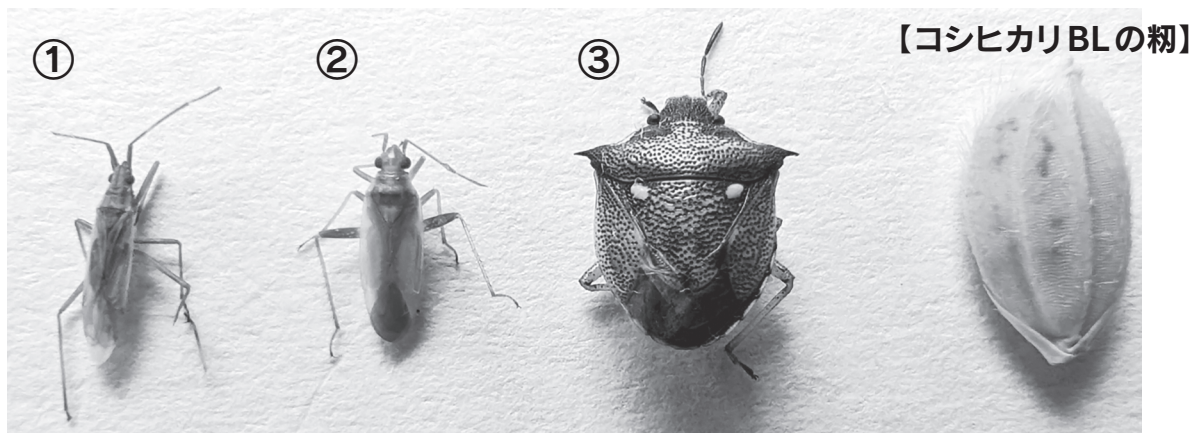
水利条件や圃場の排水性などにあわせて、最終かん水日を設定し、土壤水分の補給に努めましょう。

※地耐力が確保されていない圃場では、田面が露出する日数を長めに設けることで徐々に地耐力を確保するようにしましょう！

# ～適切な防除による品質の向上～

## 1. 斑点米カメムシについて

本年においては、斑点米カメムシの発生が多くなると予想されており、病害虫予察調査においても、魚沼地域では斑点米カメムシが「やや多い」とされております。



①【アカヒゲホソミドリカスミカメ】	②【アカスジカスミカメ】	③【オオトゲシラホシカメムシ】
体長：約6mm	体長：約5mm	体長：約7mm
全体的に淡緑色で触覚と脚節が赤い。体の幅はアカスジよりやや細い。	体色は淡い緑色で、胸背の両側から縦条に太い橙赤色があり、触覚、脚節も赤色。	前胸背側角先端は尖り、突出している。腹部下面はほぼ黒色。

## 2. 薬剤防除について

斑点米カメムシの防除は、防除適期が短いことから遅れずに薬剤散布を行いましょう。

薬剤名		散布量（10a当たり）	散布適期
キラップ	粒剤	3kg	出穂期～出穂期7日後
	粉剤DL	3～4kg	出穂期3日後（穂揃い期）～7日後
	フロアブル	1,000～2,000倍液60～200ℓ	
エクシード	粉剤DL	3kg	出穂期3日後（穂揃い期）～7日後
	フロアブル	2,000倍液60～150ℓ	

※キラップフロアブルの希釈倍率は、アカヒゲホソミドリカスミカメ以外のカメムシの発生量が多い場合には1000倍とする。

※農薬を使用する際は、必ずラベルを確認し、登録内容を厳守してください。

## 3. 畦畔雑草について

斑点米カメムシは、畦畔のイネ科雑草を好みます。収穫までの間は、雑草の種子が結実する前に、畦畔除草を行うようにしましょう！



## ★ハクサイ（年内収穫）

8月中旬に播種し、9月中旬に定植を行いましょう。ハクサイの発芽適温は**18～22℃**で冷涼な気候が適します。播種や定植時期が遅いと結球しない（葉が巻かない）ことがあるので、収穫時期に適した品種選定と作型設定をしましょう。



### 1. 主な品種と特性

品種	特徴	収穫日数(播種から)	球重
耐病六十日	各種病害に強く、生育旺盛で作りやすい極早生種。外葉がコンパクトで、密植栽培が可能。根張りが強く、栽培適応幅が広い。	60～65日	2.3kg
豊秋60日	夏蒔き・秋収穫に適している。黄芯系早生種。		2.5kg
CR千秋65	根こぶ病抵抗性品種。水はけの悪い畑で発生する土壌障害や連作障害によく耐え、作りやすい早生種。		
黄ごころ75白菜	石灰欠乏症やゴマ症などの生理障害の発生が少なく、作りやすい黄芯中生種。	70～80日	4.0kg
豊秋85日	遅どりや貯蔵用に適している。晩生大球種。	80～90日	

※J A資材店舗在庫切れの場合は、取り寄せとなる場合もございます。ご了承ください。



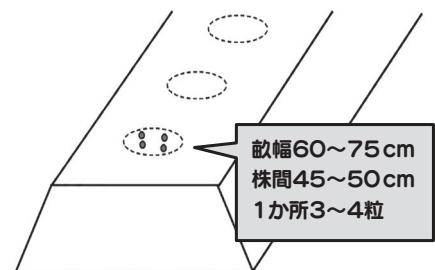
品種名にCRと入っているものは根こぶ病抵抗性品種のため、ネビジン粉剤等の使用量を控えることができます。

### 2. 播種と育苗

栽培方法には、種を畑に直接まく「直播栽培」と苗床を作ってから植える「移植栽培」の2つの方法があります。直播栽培は移植栽培に比べ、広い根群を確保でき高品質を狙うことができます。

#### 【直播栽培の方法】

畝幅60～75cmでかまぼこ型の畝を作り、株間45～50cmの間隔で、1か所に3～4粒ずつ種をまき、種が見えない程度に覆土をします。さらに上から切りわらやもみ殻を被せておくと乾燥防止になり、発芽そろいも良く、発芽後の降雨による土の跳ね上がり防止にもなります。本葉4～5枚で間引いて1本立ちにします。



※移植栽培については、あぜみちNo. 5（7ページ）のキャベツの育苗方法をご参照ください。

### 3. 定植

移植栽培の場合、播種後25～30日（本葉4～5枚程度）の若苗で定植しましょう。早生品種はやや密植、中晩生は大きくなるので畝幅・株間を大きくとりましょう。また、連作をすると根こぶ病や黄化病などの土壌病害が発生しやすくなるので注意しましょう。

～栽植密度～

- ・ 早生品種 畝間75cm×株間40cm
- ・ 中晩生品種 畝間80cm×株間50cm





## 4. 施肥例

根張りをよくするために完熟たい肥を十分に使用し、直播や定植1週間前までに肥料を混和しましょう。有機質の多い畑で栽培したハクサイは甘みが多く、日持ちもよくなります。

(kg/10㎡)

肥料名	元肥量	追肥量		備考
		1回目	2回目	
べこの堆肥	20～30			追肥時期 1回目：定植10日後(活着後) 2回目：定植1ヶ月後
粒状苦土炭カル	1.0			
MMB 燐加安	2.0	0.5	0.5	



## 5. 病害虫対策

### ●根こぶ病対策

元肥施用時に、薬剤を混和しましょう。また、高畝にすることで畑の排水性が良くなり、感染のリスクを減らすことができます。

(10㎡当たり)

薬剤	使用時期	使用量	使用回数	使用方法
ネビジン粉剤	は種又は定植前	200～300g	1回	全面土壌混和
フロンサイド粉剤		300～400g	1回	全面土壌混和

※フロンサイド粉剤は、黄化病の予防もできる。

### ●その他病害虫対策

(10㎡当たり)

病害虫	薬剤	使用時期	使用量	使用回数	使用方法
軟腐病	オリゼメート粒剤	播種時または定植時	60～90g	1回	全面土壌混和
ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	定植時	60g	1回	土壌表面散布
アブラムシ類、コナガ、アオムシ	ダントツ粒剤	定植時	2g(株あたり)	1回	植穴処理土壌混和
ハスモンヨトウ、ネキリムシ類、コオロギ	デナボン5%ベイト	収穫21日前まで	30～60g	3回	株元散布

## 6. 雑草対策

### ◎除草剤の使用方法（畑地1年生雑草に効果）

(10㎡当たり)

栽培方法	薬剤名	使用時期	使用量		使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
直播栽培	トレファノサイド乳剤	播種直後	2～3ml	1ℓ	1回	全面土壌散布
	ラッソー乳剤	播種直後	1.5ml	1ℓ	1回	全面土壌散布
移植栽培	トレファノサイド粒剤2.5	定植前(植穴掘前)	40～60g	—	1回	全面土壌散布
	ゴーゴーサン細粒剤F	定植前(雑草発生前)	40～60g	—	1回	全面土壌散布

※トレファノサイドはツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く。

※乾燥時は、粒剤の効果が落ちるので、湿った状態で散布する。

# ☆ダイコン

8月下旬～9月上旬に播種し、60日ぐらいで収穫できます。発芽適温は、20～25℃で冷涼な気候が適します。播種が遅いと肥大不足になり、早いとス入りが発生し品質を落とすので注意しましょう。



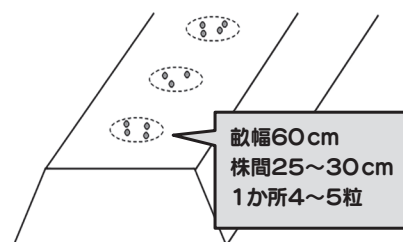
## 1. 主な品種と特性

品種	特徴
耐病総太り	作りやすく、 <b>特にス入りが遅く</b> 、甘い青首総太り大根。煮ても漬けても生でも美味しい。
耐病宮重	白肌と青首のコントラストが良く、耐病性も抜群の青首長太大根。煮物から生食と利用範囲は広い。 <b>総太りより長くなる</b> ので漬物用に適する。
耐病秋の郷	長期間畑における青首総太り大根。やわらかい肉質で、みずみずしい味わい。 <b>耐寒性もあり、ス入りも遅く収穫適期も長い</b> のが特長。

※ J A 資材店舗在庫切れの場合は、取り寄せとなる場合もございます。ご了承ください。

## 2. 播種

畝 幅60cmでかまぼこ型の畝を作り、株間25～30cmの間隔で、1か所に4～5粒ずつ種をまき、1cm程度を目安に程度に覆土をします。



## 3. 間引き

大根の根の長さは生育初期でおおよそ決まります。本葉5～6枚までの生育初期を適湿に管理し、順調に肥効を進めることで、生育が促進されることが期待できます。極端な乾燥や過湿に注意しましょう。

《間引き1回目》貝割葉が完全に開いたときに、混み合ったところを間引く。

《間引き2回目》本葉2～3枚の時、1ヶ所2本立ちにする。

《間引き3回目》本葉3～5枚の時、生育の良いものを残し1本立ちにする。

## 4. 施肥例

排水が良く十分な耕土（50cm以上）があり、排水性と保水性が両立できる土づくりが必要です。深耕するとともに、基肥は夏季では播種の5～7日前までに施用し十分に耕起し土になじませておきましょう。

(10㎡当たり)

肥料名	施肥量		追肥の目安
	基肥	追肥	
粒状苦土炭カル(M-10)	1.2 kg		生育の様子を見ながら3回目の間引き終了後に 
苦土重焼燐	0.3 kg		
けい酸加里プレミア	0.3 kg		
MMB 燐加安	1.4 kg		
NK 化成		0.2 kg × 2 回	

## 5. 害虫防除

特にダイコンは、キスジノミハムシの幼虫による根の食害(果皮のデコボコ傷)や成虫による葉や茎の食害が多いです。きれいな果皮にするためには、播種時からの薬剤防除がとても重要です!

薬剤名	使用時期	使用量	使用回数	使用方法
ダイアジノン粒剤5	播種時及び生育期 (但し、収穫21日前まで)	60 g	2回以内	播種時: 作条土壌混和 作物生育中: 株元土壌混和

農薬を使用する際は、登録作物名・使用方法・使用回数・倍率等を確認し正しく使用しましょう。掲載している資材について、JA資材店舗在庫切れの場合は取り寄せとなります。ご了承ください。

## ～ JAからのお知らせ ～

### ★「JAみなみ魚沼米」栽培記録・GAPカード提出について

栽培記録カードの**第2回目**を提出期限までに提出をお願いします。

#### 1. 提出書類：栽培記録カード第2回目

・全品種用：黄色用紙

・特別栽培米用：

5割減（3ページ目）

8割減・10割減（8ページ目）

#### 2. 提出場所：JA各支店、各事業所窓口

#### 3. 提出期限：令和6年8月16日(金)

### アグリセンター資材店舗からのお知らせ（8月からの営業時間について）

日頃よりアグリセンターをご利用頂き誠にありがとうございます。

つきましては、下記にて**8月から10月末日迄**の各アグリセンターの営業時間をお知らせいたします。

アグリセンター	平 日	土・日・祝日
大 和	8:00～18:00 ※9月1日からは8:00～17:30	8:30～17:30
六 日 町	8:00～17:30	
し お ざ わ	8:00～17:30	
湯 沢	8:30～17:30	8:30～12:00※土曜日のみ営業

※8月31日(土)は棚卸作業に伴い各店舗終日臨時休業とさせていただきます。

### アグリルックシステム(水稻圃場情報提供サービス)の活用について!

地域農業再生協議会とJAで連携し、気象変動に左右されない高品質米生産のため、情報提供体制を構築しています。是非ご活用ください!!

【人工衛星で圃場毎に確認できる内容】

◆生育状況マップ◆葉色マップ◆生育トレンド(生育状況)◆最高 / 最低 / 平均気温  
◆積算温度◆出穂期予測◆日射量◆降水量◆

《アグリルックシステムへのアクセス》

URL : <https://www.agrilook-info.jp/minamiuonuma/> ユーザID : user パスワード : user

次号「あぜみち」予告

■ 稲作…出穂後の積算温度  
■ 園芸…秋野菜の定植

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 Tel777-3786

◎アグリセンター六日町 Tel773-6121

◎しおざわ基幹センター Tel782-1171